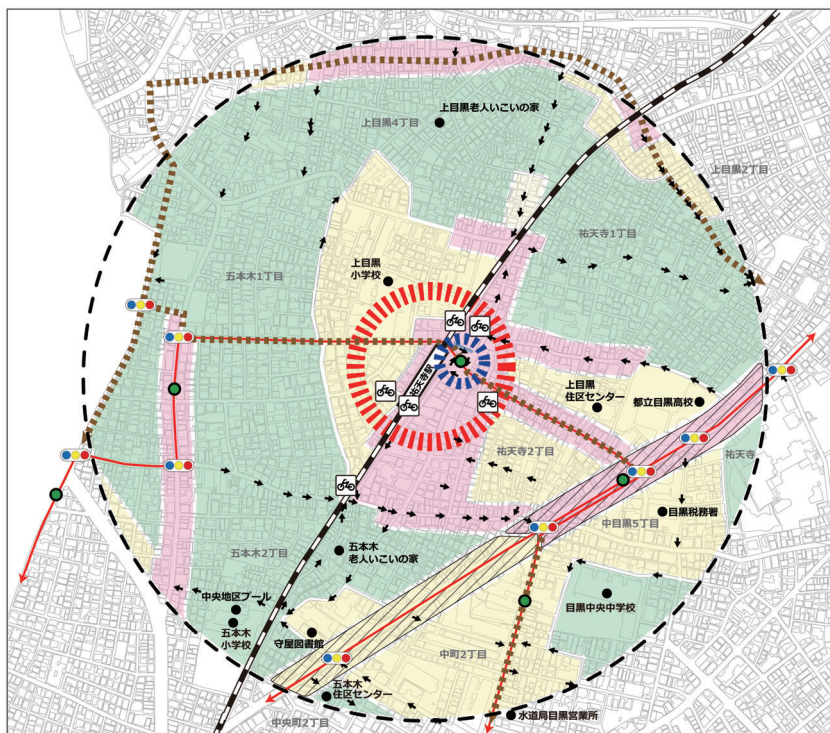


2. 祐天寺駅周辺地区の現状と課題

■街づくりの課題図【土地・建物利用及び交通環境】

【土地・建物利用に関する課題】

- 地区生活拠点にふさわしい日常的な生活や活動の拠点の形成
- 【近隣商業地域】
 - 既存商業施設の商業環境の変化
 - ・後継者不足（テナント経営への転換）への対応
 - ・空き店舗の対策
 - 新規業態の出店への対応
 - ・祐天寺駅周辺に出店する業種の増加（カフェ・雑貨等）への対応
 - ・新たな商業活動への対応
- 【第一種中高層住居専用地域】
 - 【第一種住居地域】
 - 【第二種住居地域】
 - 低層建物と中層建物との混在市街地の形成
 - ・低層建物と中層建物が共存できる居住環境の形成
 - 【第一種低層住居専用地域】
 - 敷地分割の進行に伴う住環境の変化
 - ・民有地内の緑地の減少への対応
- 【駒沢通り沿道】
 - 幹線道路沿道にふさわしい土地建物利用の誘導
 - ・土地の高度利用化の促進
 - ・沿道の建物の耐震化・不燃化



【交通環境に関する課題】

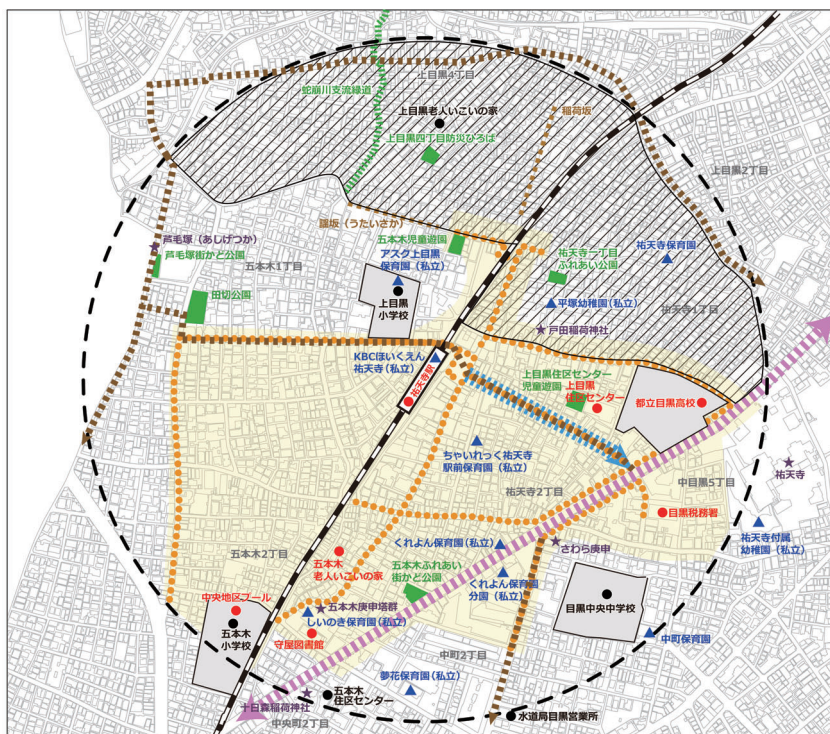
- 主要生活道路の安全性の確保
 - ・自動車と歩行者等の安全な移動環境の確保
- バス通り沿いの安全な歩行空間の確保
- 駅改修に合わせた駅前広場のあり方の検討
 - ・歩行空間の確保による安全性・快適性の向上
 - ・駅からバス停までの快適な動線の確保
 - ・地域主体の花壇管理の負担軽減
 - ・イベントなど社会ニーズへの対応
 - ・ロータリーの違法駐車への対応
- 地域課題に対応した駐車場等の利用方法の検討
 - ・自動二輪（バイク）の駐車スペース不足への対応
 - ・違法駐車・違法駐輪への対応
- 全体
 - ・自転車走行環境の整備（自転車ナビマークの整備等）
 - ・安全な移動環境の確保



■街づくりの課題図【みどり・公園・景観及び安全・安心】

【みどり・公園・景観に関する課題】

- 街並み景観形成
 - ・一定の秩序を保ちつつ、個性的な賑わいを感じるデザインの商店集積化
- 起伏のある地形の特徴を活かした街づくり
 - ・坂道を活かした景観形成
- 「祐天寺」などの地域資源の活用
 - ・地域の貴重な文化資源である「祐天寺」などを活用した街づくり
- 地区の憩いの拠点となる公園等の利活用
 - ・ニーズに対応した公園等の再整備
 - ・公園等を核とした地域活動の活性化
- みどりの保全と創出
 - ・既存のみどりの保全と新たなみどりの創出
- 歩いて楽しめる散策ルートの検討
 - ・来訪者の回遊性創出



【安全・安心に関する課題】

<<防災・防犯・コミュニティ>>

- 地域の防災機能の強化
 - ・地域避難所の防災機能の強化
 - ・地域防災組織の活動の強化
 - ・災害時に地域危険度が高い地域の改善
 - ・延焼遮断帯及び一般緊急輸送道路としての機能の強化
 - ・災害時における避難経路としての機能の確保
- 誰もが移動しやすい移動環境確保（バリアフリー整備地区）
 - ・駅から公共施設までの主要経路のアクセスの改善
 - ・高齢者から子どもまで、誰もが安心して歩ける歩行環境の改善
- 駅周辺
 - 快適な居住環境への改善
 - ・ゴミのポイ捨て等のマナーの向上
 - ・交番の存在をより分かりやすくするための改善
- 全体
 - 地域の防災機能の強化
 - ・地震時に倒壊の危険性のあるブロック塀の解消
 - ・狭い道路の拡幅
 - 防犯対策
 - ・見通しの確保や暗がりの解消
 - 高齢化・居住者等の変化に対応した地域コミュニティのあり方の検討等
 - ・地域活動等の活性化
 - ・地域居住者の交流イベントの検討
 - ・来訪者増加への対応



3. 地区の将来像

地区の将来像は、これからの街づくりにおいて地域の方々と共有し、目指していく地区の将来の姿となります。

現在及び将来にわたって地域の方々が健全に豊かに暮らし続けると同時に、様々な活動が活発に営まれるよう、概ね 10 年後の本地区の将来像を定めます。

多様な歴史と新しい文化が交流し、 共鳴しながら創造するまち 誰もが住み続けられる安全で安心なまち 祐天寺

● 多様な歴史と新しい文化

本地区は、江戸時代中期に創建された「祐天寺」があり、明治時代の中頃まで、江戸・東京に農産物を供給する農村集落でした。昭和時代に入り東急東横線開通以降、祐天寺駅周辺は落ち着いたある住宅地として広がり、地域住民が利用する商店が立ち並ぶようになりました。

近年はカフェ・雑貨・古着屋などの鋭敏な感性が感じられる新しいタイプの飲食店や物販店の出店がみられるとともに、20代前半の女性の居住が増加していると見られ、祐天寺駅舎の改修や駅ビルの建設など、これまで地域で培われてきた歴史や文化が大きく変化・変容しようとしています。

このような多様な歴史と新しい文化（人・営み・建物等）が混ざり合う状況を、本地区の発展の機会としてとらえ、新たな歴史・文化を生み出すまちを目指します。

● 文化が交流し、共鳴しながら創造する

多様な歴史と新しい文化（人・営み・建物等）が混ざり合う状況を本地区の発展の機会としてとらえ、古い歴史と新しい要素が共鳴し合い、地域全体としての調和を図りながら、地域の顔となる駅前広場のあり方を含めて、新しいまち 祐天寺の創造を目指します。

● 誰もが住み続けられる

本地区は、目黒区の中でもやや高齢化が進行しており小学生以下の増加もみられることから、世代バランスのとれた人口構成の形成に向け、高齢者もファミリー世帯も住み続けられる街づくりが重要です。

また、中目黒駅に隣接する地域であり、交通利便性が極めて高い住宅地として注目されており、古くから住む人も新たに住む人にとっても暮らしやすいまちを目指します。

● 安全 安心

本地区には、木造住宅が密集しているところもあり、災害時活動困難度や、延焼の危険性が高い地域です。

また、夜間営業の店舗の増加、居住者の変化や来訪者の増加が見られることから、地域では、風紀やマナーについて声があがっています。

加えて、新しい居住者、新しい店舗の経営者等と地域のコミュニティを支えている町会・自治会、住区住民会議や商店会等との関係を深めていくことも必要です。

このような、防災・防犯・コミュニティに関する課題を解消し、安全・安心な街づくりの取組の実現を目指します。